

福島大学行政社会学会「学術講演会」

公開講演会

フクシマ後のエネルギー・原子力政策を考える

東京電力福島第1原子力発電所の事故は日本社会に大きな衝撃を与えました。その結果、各方面で原子力発電をめぐって議論が活発に行われるようになり、日本のエネルギー・原子力政策の見直しが新たな課題として浮上しています。私たちは福島原発事故から何を学び、日本のエネルギー・原子力問題をどのように考えたらよいのでしょうか。本講演会では原子力委員会から鈴木達治郎氏をお招きし、原子力行政の専門家・実務家の見地から福島原発事故の教訓や今後のエネルギー・原子力政策についてお話していただきます。

日時：2011年11月18日（金）16：20～17：50

会場：福島大学 共通講義棟L2教室

福島市金谷川1番地（JR金谷川駅下車徒歩10分）

主催：福島大学行政政策学類

共催：福島大学行政社会学会

うつくしまふくしま未来支援センター

講演者：原子力委員会委員長代理 鈴木達治郎氏



演題：福島原発事故の教訓と今後のエネルギー・原子力政策

* 入場無料・事前申し込み不要

【問合せ先】福島大学行政政策学類 黒崎輝研究室 電話：024-548-8299